

# 八丈町立大賀郷学園大賀郷中学校

## オリンピック・パラリンピック教育の講演会について

日 時

平成31年2月14日（木）13：15～講演会・生徒とのトークセッション

終了後 バレーボール教室

15日（金）1／2校時 保健体育の授業参加

3校時 道徳授業に参加

4校時 桃桜（特別支援学級）交流

場 所 主に大賀郷中学校体育館

講演者

元女子バレーボールアメリカ代表 堀江 陽子(ヨーコ・ゼッターランド)氏

1992年バルセロナオリンピック銅メダリスト



アメリカ合衆国カリフォルニア州サンフランシスコで生まれる。母親の堀江方子は元バレーボール日本代表選手。1975年6歳の時、母とともに日本に移住。文京区立第十中学校に入学、部活動として本格的にバレーボールを始める。石本星二の指導を受け、1983年全日本中学選手権で優勝、ベスト6を獲得。高校は母親がヘッドコーチを務める中村高校に入学。全東京メンバーとしては、国体優勝、中村高校では春高バレー・インターハイで3位入賞を果たし、全日本ジュニアメンバーとして、アジアジュニア選手権での優勝を経験した。高校卒業時には、複数の強豪実業団チームが獲得に動き一躍脚光をあびるが、1987年、早稲田大学人間科学部スポーツ科学科へ入学した。女子バレー部に入部し、当時関東大学リーグ6部最下位にあったチームを2部優勝まで導く。しかし当時バレー界では、進路至上主義が非常に強く、卒業後の実業団バレー選手への道は閉ざされてしまう。このため、全日本代表としてのオリンピック出場を断念し、出生地であるアメリカ国籍を選択する。大学卒業直前の1991年2月に単身渡米し、アメリカナショナルチームのトライアウトを受験し合格。大学卒業後はフジテレビに入社するが4月に再渡米し、ナショナルチームでの活動を本格的に始動。1992年バルセロナオリンピックに出場し銅メダル獲得。続く1996年アトランタオリンピックにも出場し、アメリカナショナルチームで7年間活躍した。同年、実業団チームの東芝シーガルズへ入団。翌1997年にダイエー・オレン

アメリカナショナルチームのトライアウトを受験し合格。大学卒業後はフジテレビに入社するが4月に再渡米し、ナショナルチームでの活動を本格的に始動。1992年バルセロナオリンピックに出場し銅メダル獲得。続く1996年アトランタオリンピックにも出場し、アメリカナショナルチームで7年間活躍した。同年、実業団チームの東芝シーガルズへ入団。翌1997年にダイエー・オレン



ジアタッカーズとプロ契約しVリーグでプレー。休部予定であったダイエーの3年ぶり2度目の優勝に大きく貢献し、ベスト6を獲得した。1998年日本バレーボール界初のプロチームとなったオレンジアタッカーズでプレーし、1999年の皇后杯黒鷲旗（全日本選手権大会）で2連覇。これらの大会でもベスト6を受賞した。1999年5月、現役を引退。引退後はスポーツコメンテーターとして、テレビ、ラジオ、雑誌をはじめ、講演、解説、バレー教室、エッセー執筆などで活動。2009年10月より、鹿屋体育大学大学院体育学研究科に入学。同大学の東京サテライトキャンパスに2年間通学し、2011年9月修士課程修了。2007年3月 - 2011年3月日本バレーボール協会理事、2007年8月 - 2012年3月日本バスケットボールリーグ理事、2010年7月 - 2014年1月（社）日本プロサッカーリーグ理事を務めた。2012年5月～2014年3月、小中学生を対象に「ヨーコ・ゼッターランドバレーボールクラブ」を開設した。2013年1月～2017年3月、嘉悦大学女子バレーボール部監督。



東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事、2019ラグビーワールドカップ組織委員会評議員、日本スポーツ協会常務理事、日本アメリカンフットボール協会理事、Vリーグ機構理事、WOWOW番組審議委員